

あなたの声を市政に！「市長への手紙」

市政に対して感じていることや望むことなどがありましたら、この手紙に書いてお寄せください。

(差出人) ※欄の記入は必須

住所 <sup>※</sup>	□□□-□□□□				
氏名 <sup>※</sup>	電話 <sup>※</sup>	( )			
職業	年齢	歳	性別	男・女	

私の提言・意見 ( ) について

(本文)

- 回答を希望しますか。
    - ・希望します
    - ・希望しません
  - 公開してもよろしいですか。
 

(個人が特定される情報は掲載しません。また、匿名の場合は公開しません。)

    - ・はい
    - ・いいえ
- ※それぞれどちらかを○で囲んでください。

ホストタウン応援コラム Vol.26



パラテコンドートルコ共和国代表選手団と  
オンライン交流会を開催

6月8日・9日、北泉小学校及び仁手小学校とトルコ国内で強化合宿を行っているパラテコンドートルコ共和国代表選手団とのオンライン交流会が開催されました。日本とトルコの時差は6時間、現地時間は朝8時過ぎという早い時間でしたが、トルコからは東京2020パラリンピック競技大会に出場が決定している6名の選手のほか、技術トレーナーなど多くの関係者が参加してくれました。

オンラインで選手に質問

北泉小学校では、6年生の児童がオンライン交流会に参加。交流会では、学校紹介の後、選手による技の披露や選手への質問を行いました。

児童は、パラテコンドーが上肢障害者の競技であることから「手がなくて困っている事はありませんか」と質問。競技で一番障害の重いクラスの代表であるシェイマーさんは「私は両手とも障害があり、他の選手よりハンデがありますが、自分の手が使えないということを受け入れ突き進むことが大事です。」と回答しました。児童たちは、真剣なまなざしで耳を傾け、共生社会へ向けた貴重な交流会となりました。



▲選手に質問する児童

選手団「頑張る姿を見てほしい」

9日は仁手小学校の5～6年生がトルコ人通訳のイナン・オネルさんからトルコの文化や簡単なトルコ語を学んだ後、選手団とオンライン交流会を行いました。

児童からの質問コーナーでは、トルコで人気のあるキャラクターや、国境はどのように越えるのか、などといった話題で盛り上がり、楽しい交流会となりました。

選手たちは「今日は、とても楽しかったです。この交流会をきっかけとして障害者への偏見をなくし、私たちの頑張る姿をぜひご覧ください。」とメッセージを送りました。



▲画面越しにエールを送る

ギョルシュルズ！（またね！）

★オリンピック・パラリンピック支援室 ☎25-1615